



審査結果報告書

2022 年 1 月 31 日

主 査 氏 名 比 企 直 樹 

副 査 氏 名 三 叔 信 

副 査 氏 名 宮 塚 健 

副 査 氏 名 小 林 清 典 

1. 申請者氏名 : DM18010 久保田 陽

2. 論文テーマ :

Predictive significance of promoter DNA methylation of Cysteine dioxygenase type 1 (CD01) in metachronous gastric cancer
(Cysteine dioxygenase type 1 (CD01)プロモーターDNAメチル化による異時性胃癌の予測)

3. 論文審査結果 :

本論文は早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) 後の癒痕上に出来た異時性胃癌の発生メカニズムを解明に関する研究である。

癌特異的メチル化遺伝子である Cysteine dioxygenase type 1 (CD01)プロモーターDNAメチル化と異時性胃癌の発生の関連性について分子生物学的に検討した。その結果、異時性胃癌の発癌のメカニズムとして、CD01プロモーターDNAメチル化は異時性胃癌の発生に関与していると結んだ。

単遺伝子での解析であり、さらに ESD 治療癒痕に出来た異時性胃癌であるため、限定的な環境に生じた異時性胃癌の解析ではあるが、そのメカニズムに迫る重要なデータを得た研究であり、北里大学の学位論文として十分な論文となっている。また、今回の論文で示されたデータは新規性があり、発展性も十分であるため、今後の研究の展開が楽しみである。一方、異時性胃癌と再発胃癌の区別が難しいこと、さらにメカニズムを明らかにするためにはノックアウトマウスなどを用いた実験手法が必要と思われ、これらの課題を解決する今後の研究にも期待が持たれる。